



1 9 9 6
No. 6 7 8

小田原

広

報

ODAWARA
Public
Information



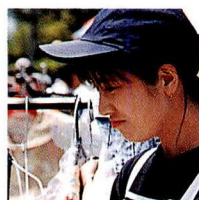
発行*小田原市

小田原市荻窪300番地 ☎250

編集*広報広聴課

☎0465(33)1261

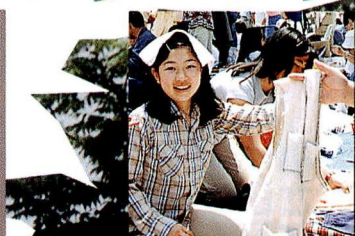
(毎月1・15日発行)



エコライフフェア'96

6月2日(日)、上府中公園で開かれたエコライフフェア。初夏のすがすがしい風を受け、掘り出し物を求めてあふれんばかりの人、人、人……。お気に入りのものは見つかりましたか。フリーマーケット、粗大ごみを再生した家具の販売、また、空き缶の回収、紙すき体験、手づくり石けん体験など、環境を考えるいろいろな催しがありました。限りある資源を守るためには、一人ひとりの意識が大切。豊かな環境を子や孫へ引き継ぐため、あなたはなにを考え、なにをしますか。

環境を考える



り出し物は
あつたかな

●主な内容

- ◆インターネット..... 2
- ◆あたたかい福祉のいこふれてみようよ..... 4
- ◆「きらめき☆おだわら塾」スタート..... 6
- ◆うめっ子通信..... 8

情報通信ネットワークが 市民と行政の新しい関係を紡ぎはじめる

インターネットという言葉は、新聞やテレビに毎日のように登場します。そのインターネットに、小田原市のホームページ（小田原を紹介するページ）がオープンしていたのをご存じでしたか？
今回は、なぜ小田原でインターネットなのかをご紹介します。

小田原では もうインターネットが 動き始めています

小田原市は、昨年の11月、インターネットで国内外への情報発信を始めました。

インターネットの利用者は、ここ数年爆発的に増加しています。こうした動きに合わせて、インターネットを利用して観光情報や歴史情報などを提供する自治体もたいへんな勢いで増えています。県内で今年の1月現在、情報を発信している自治体は、小田原市のほかには横浜市と大和市だけでした。現在は、県下の多くの自治体がインターネットのホームページを開設し、世界に情報を発信する準備をしています。

市民とともにつくる 地域のネットワーク

小田原市がインターネットで実験する今年のテーマは、市民とのネットワークづくりです。

現在、市の総合計画の見直しが行われていますが、そこでも市民参加を全面に打ち出した、市民と行政との新しい関係づくりに重点を置いています。

インターネットについても、ただ情報を発信するだけでなく、市民と行政が双方向に交流できるネットワークとして活用していきます。

小田原だけの 新しい試みも…

具体的には市民と市民、市民と行政が交流する場として、インターネットで簡単な議論のできるフォーラム（会議室）を将来試験的に開設する予定です。

このような機能を導入して、市民と行政の交流を進めると同時に、発信する情報についても国内外向けと市民向けの2種類に分けています。

特に市民向けのページについては、OpenOdawara Public Electronic Network（小田原市の公共電子ネットワーク）と名付け、観光ガイドや、行政サービスの情報などを実験的に提供し始めます。

インターネットで 小田原が 小さな世界都市に

情報通信技術の急速な進歩は、私たちが今まで夢物語としか考えられなかったことも可能にしつつあります。

たとえば、光ファイバー網が日本中にはりめぐらされれば、光ファイバーの大容量を利用して、高速かつ大量にデータを送受信することができるようになります。インターネットも、今までより安く、より快適に利用できるようになります。その結果、文字情報だけでなく、音声や静止画像、動画なども含めたいわゆる「マルチメディア」情報を、家庭や職場から簡単に入手できるようになるのです。

本市の場合、市内にあるケーブルテレビ会社が、こうした光ファイバー網の整備を計画しています。数年後にはインターネットは電話のように当たり前のものになるかもしれないのです。

こうした動向をふまえ、間近に迫りつつあるネットワーク社会をにらみながら、インターネットを利用した実験を行っています。

Internet

災害対策や行政改革にも インターネットを活用

昨年1月の阪神・淡路大震災で、パソコン通信やインターネットは大きな役割を果たしました。まだ課題はあるものの、小田原市でも災害時のインターネット利用を検討しています。また、職員の資質向上や業務改善を進めるために、インターネットを視野に入れた行政情報化を進めていきます。

災害発生時に インターネットを活用

阪神・淡路大震災でインターネットは一躍脚光を浴びました。

あの大震災から1年半。今も被災地は災害からの復旧作業が続いています。

あのととき、神戸の被災地でも、小学校などの避難所にパソコン通信用のパソコンが設置され、情報ボランティアが活躍。お風

呂の場所、炊き出しの日時、捜し人、屋根の修理の依頼先といった情報がネットワークの中を縦横に飛び交いました。

本市でも、将来、災害時にインターネットを利用して情報を発信することを検討しています。

どのような情報を提供するか、といった問題を含め、皆さんからの提案やアイデアを募集します。ご協力ください。

インターネットが、 行政改革を 強力にサポート

市が現在進めている行政改革にも、インターネットを積極的に活用していきます。

行政改革を進めるなかで、インターネットをはじめとする情報通信技術を活用しながら、組織の枠を超えたネットワークづくりと行政事務の効率化、市役所の活性化を進めます。



▲最初に現れる画面がこれです。
好きな項目を選ぶと、その情報が提供されている画面に一瞬のうちにジャンプします



▲市民のためのページ「OpeN」。今年新しく登場したページです

▲「小田原百科事典」では、英語やフランス語で小田原を世界に紹介しています

小田原市ホームページへのアクセスは
<http://www.space.ad.jp/vcity/odawara/index-j.html>

広報広聴課 ☎33-1264

ホームページ

いろいろな情報が、文字や映像、音声といったさまざまな形で集めてある場所です。小田原市のホームページでは、小田原の歴史や観光に関する情報を提供しています。

光ファイバー網

光ファイバーは人間の髪の毛ほどの太さのガラスでできた繊維です。この光ファイバーを使うと、今まで電話などに利用されてきた銅線の約15000倍という大量のデータを伝達することが可能になります。光ファイバー網は、この大容量という特性をいかした未来の情報通信基盤です。テレビ番組の提供だけでなく、電話、インターネットなどの利用も可能になるといわれています。

インターネット

世界中のコンピュータを結んだネットワークです。インターネットにつながっているパソコンなら、世界中の人たちと手紙（電子メール）をやりとりすることができます。また、世界中のあちこちで提供されている観光情報、学術情報、企業情報、公共情報などを自由に見ることもできます。家庭用ゲーム機などでも簡単にインターネットに接続できるようになってきており、インターネットはますます身近なものになりつつあります。

平成7年度の福祉施設体験学習に参加した児童の感想文から抜粋

老人ホーム「陽光の園」を訪問して

芦子小学校6年 奥津 剛

ぼくは初めて老人ホームのボランティアに参加しました。正直な話、あまり老人ホームには興味がありませんでした。

前の晩、「きっと、冷房もお年寄りが嫌って止めてしまい、古く暗い木造のアパートのような所で世話をするのかなあ」と思いながら寝ました。

さて当日、入生田の山腹にある老人ホームに着くや否や、白い鉄筋のすばらしい建物を見てびっくりしました。近代的な設備が整っていて、想像していたのとはまったく反対で、とても快適でした。

最初に車いすの押し方を習いました。ただ、押したり引いたりすればいいと思っていたのですが、お年寄りが乗るので、デリケートな操作が必要なのです。その押し加減がほんとうにむずかしかった

です。車いすを押してあげたり、食事を口に運んであげたりしたお年寄りの表情と、ことばが不自由にもかかわらず、うれしそうにニコニコした目が忘れられませんでした。

このボランティアを通じて、いろいろなことを考えさせられました。これからの社会は高齢化が進み、否応なくお年寄りと一緒に暮らすことが多くなると思います。行政の指導や施設の充実も必要ですが、ぼくらのなにげないお年寄りに対する「やさしさ・いたわりの気持ち」、すなわち「心」の充実が一番たいせつではないかと思いました。

そして、安心してお年寄りが生活でき、社会の一員として活躍できる社会環境をぼくら自身が少しずつつくっていかねばならないと思います。

社会福祉を学ぶことは、体験してみることなんです。あたたかい福祉の心にふれてみようよ

私たちは、ともすると自分のおかれている立場だけで、ものごとを考えてしまいがちです。体の不自由な人のことや、お年寄りのことも、自分には直接関係ないと無関心になってはいませんか。でもちょっと待って。高齢化が進む私たちの社会では「障害」や「社会福祉」は、一人ひとりに関わりとても身近な問題なのです。だれもが暮らしやすく、生きがいを追求できる社会。障害のある人もない人も、ともに手をたずさえて生きていく社会。それが私たちが築く明日の社会のかたち。それにはあなたの理解と協力が必要です。

高齢化社会ってどんな社会？

体の不自由な人やお年寄りは、どんな不便さを感じているの？ 社会福祉で何ができるの？

そんな疑問が浮かんだら、まず知ることから始めましょう。

新しい世界がきっと広がるはず。あなたの参加を待っている講座がたくさんあります。



在宅介護講習会

日程	時間	講義内容	講師
1日目 8/20(火)		老人の健康管理について ・老人の特徴、ばけ老人への接し方 ・体温、脈拍、血圧の測定 ・食事介助	積善会曾我病院総婦長 栗田房子さん
2日目 8/22(木)	13:00 ～ 16:00	老人の介護について ・清潔の保ちかた ・排泄の介助・寝衣交換	総合相模原更正病院総婦長 矢澤要子さん
3日目 8/23(金)		手軽にできるリハビリテーション ・からだの動かし方 ・事故防止	湯河原中央温泉病院総婦長 高橋フジさん



高齢者への在宅ケアを学ぶ
介護講習会

高齢者にとって、住み慣れた自分の家で介護サービスが受けられることが、もっとも望ましいことといえるでしょう。介護講習会では、家庭介護の基礎知識に加え、身体介護やリハビリテーションなどの実践的な技術を学びます。お年寄りの介護や健康管理、機能訓練などに興味のある方大歓迎です。また、福祉関係の仕事をめざしている方にも役に立つ講習会です。

日時 8月20日(火)・22日(木)・23日(金)午後1時～4時

場所 社会福祉センター

対象 学生をはじめ社会福祉に関心のある方で、3日間出席できる方

定員 20人・先着順

申込開始 7月16日(火)

カラダで心を学びましよう 福祉施設体験学習

高齢化社会の介護の担い手となる、学生の皆さんを対象とする講座です。高齢者や障害者のための施設を訪問し、車いすを使った実習や食事の手助け、レクリエーション活動などを体験します。交流を通じて痛みを分かち合い、社会福祉が担う役割と課題を考えることのできる豊かな心を育みます。

対象 市内在住・在学の高校生・

福祉関係ボランティア 基礎講座 (夏休みコース)

世代を越えて、ボランティアに対する関心は年々高まっています。でも、実際にどのような活動に始めたらよいか分からないという人も少なくありません。

そんなボランティア未経験の人のために、夏休みを利用した福祉ボランティアの入門講座を開きます。手話サークル、録音ボランティア、点訳奉仕ボランティアなどの方々を講師に迎え、目や耳の不自由な方とのコミュニケーション活動を中心に学びます。

日時 7月29日(月)、8月5日(月)、16日(金)、19日(月)、26日(月)(全5回)
午後1時30分～3時30分

場所 社会福祉センター

対象 高校生以上の市内在住、在勤、在学の方。ただし、今までに受講された方はご遠慮ください

大学生・先着順

申込期間 7月8日(月)～12日(金)

希望する施設名を第2希望までお伝えください

参加料 無料。ただし、体験学習当日の食費は自己負担

※軽費老人ホーム・あしがかり荘、知的障害者社会就労センター・よるべ沼代、知的障害者通所更正施設・四恩活動センター、知的障害者通所授産施設・四恩職業センターには、小・中・高校のボランティア協力校などから体験学習に協力をいただいでい

います。

定員 30人・先着順

内容 手話・録音奉仕・点字学習の体験談と車いす操作体験など

申込期間 7月8日(月)～15日(月)

ます。

※実施時間 午前10時～午後3時

施設によって、実施時間が変わる場合があります。

※募集人数は、応募の状況で変わる場合があります。



福祉施設体験学習日程表

施設名	日程	定員	施設の種類	備考
竹の子学園	7月23日(火)	10人	知的障害者施設	昼食負担金320円
ルビーホーム	7月30日(火)	10人	特別養護老人ホーム	昼食負担金400円
ルビーホーム	8月6日(火)	10人	特別養護老人ホーム	昼食負担金400円
陽光の園	8月7日(水)	15人	特別養護老人ホーム	昼食負担金320円
曾我病院	8月8日(木)	15人	医療社会福祉事業施設	昼食負担金250円
西湘老人ホーム	8月9日(金)	15人	特別養護老人ホーム	昼食負担金510円
潤生園	8月13日(火)	15人	特別養護老人ホーム	昼食は各自で用意
梅香園	8月27日(火)	10人	精神薄弱者通所授産施設	昼食負担金384円
富士学園	8月28日(水)	10人	精神薄弱児通園施設	昼食は各自で用意

事前説明会 7月13日(土) 午後1時30分 社会福祉センター



申し込み

社会福祉協議会
354000

場所 社会福祉センター
対象 市内在住の小・中学生(小学生は保護者同伴可)
定員 小学生30人・中学生30人
講師 県認定手話通訳者と松の会学習グループ
参加料 無料
申込開始 7月12日(金)

手話でお話ししてみませんか 夏休み・やさしい手話教室

聞えない、話すことができない、そんな方が皆さんのまわりにはいませんか。その人たちとお話ができたら…。この手話教室は、小・中学生を対象に簡単な単語から気持ちの表現までの分かりやすい手話を学びます。

日時 7月25日～8月29日の毎週木曜日・全5回(8月15日を除く)
午前10時～正午

「きらめき☆おだわら塾」スタート 市民がつくる市民のための生涯学習

「もっと心豊かに暮らしたい」

趣味や教養などいろいろな分野での学習活動・文化活動がさかんです。

「学びたい」だけでなく、「教えたい」「地域の役に立ちたい」という意欲にもこたえるため、

また、市民が主人公になって学び合い、教え合う生涯学習社会づくりを進めるため、

「きらめき☆おだわら塾」を設置し、生涯学習人材バンクの設立や

市民教授の公募などの活動を開始しました。

『おだわら塾推進委員会』発足

きらめき☆おだわら塾推進委員会が活動を始めました。委員会は、

公募による市民ボランティア15人で構成されており、市民主体の生涯学習社会づくりの推進役となり



ます。これからご紹介する「きらめき☆市民教授」の発掘、登録促進、活動の場の開拓など、おだわら塾が進める事業の企画、運営などを行います。

推進委員の皆さんは、「日常生活に直結した学習の大切さを多くの人に広めたい」「環境教育を充実させ、自然環境と調和したまちづくりを」「小田原の文化的基盤をいかに人づくりに」「心がときめくような会話の生まれるまちになれば…」など、それぞれに熱い抱負を語ってくれました。

あなたも市民教授に さっそく登録、楽しく活動

生涯学習ボランティア人材バンクを設立、「きらめき☆市民教授」として登録していただける方を募集します。

知っていることや学んだことを誰かに伝える喜び、何かの役に立てたことで得られる充実感。「生きがい」というと少しおおげさな感

無は問いません
登録の方法

登録を希望する人は、「市民教授登録申込書」に必要事項を記入し、まなびの相談室（マロニエ）または市役所社会教育課に提出してください。また、推薦もできます。身近で市民教授にふさわしい人をご存じでしたら、市民教授推薦書に記入し社会教育課に提出してください。推薦の場合には本人の了解をいただいてから登録します。

市民教授の利用

・まず相談を

市民教授に指導を依頼する場合には、まなびの相談室または社会教育課にご相談ください。希望に応じて登録者を紹介します。ただし、営利目的、政治、宗教活動などの依頼には応じられません。

指導にかかる経費

市民教授の指導にかかる経費（交通費、謝礼、教材費・会場使用料など）は、依頼者側の負担となります。

集まれ！ 生涯学習ボランティア

市民の間でボランティア活動への関心が高まっていますが、ボランティアと生涯学習とは、自己開発や自己実現につながるという意味で大変深い関係にあります。

おだわら塾の発足と市民教授の公募開始に合わせ、この活動を市民の力でもっと広め、育てるため、生涯学習とボランティア活動について考える集いを開きます。すでにボランティアとして活動



している方も、学習や文化活動など、「なにかを始めたい」と思っている方も、ふるってご参加ください。あなたを待っている仲間や、あなたのやりたいことが、きっと見つかります。

日時 7月28日(日)午後2時30分～4時30分

会場 マロニエ

内容

・講演「心豊かなまちづくりを」生涯学習ボランティアが時代を拓く（講師 玉川大学教授・白石克己さん）

・ボランティア活動の紹介

・あなたも「きらめき☆市民教授」に！生涯学習人材バンク制度の紹介と登録のご案内

▼申し込み 社会教育課 ☎3317112 まなびの相談室 ☎4715115 内2110

ケアセンター事業

在宅で介護を受けている寝たきりや虚弱、痴ほう性のお年寄りを、福祉施設が日帰りまたは1泊2日で受け入れ、入浴・食事・健康チェック・機能訓練などを行います。お年寄りの健康の維持・向上と家族の介護負担を減らすことを目的とする事業です。利用できるのは月に4回程度。利用時間は午前10時から午後3時ごろまで。施設のバスによる送迎サービスが受けられます。利用するときは、食



事、材料費などの自己負担があります。市はこの事業を地域別に、次の施設に委託しています。それぞれ

- の担当地域については、お問い合わせください。
- ・西湘老人ホームケアセンター (早川853 ☎242801)
 - ・陽光の園ケアセンター (入生田475 ☎240013)
 - ・ルビーホームケアセンター (曽我光海2-1 ☎421278)
 - ・潤生園ケアセンター (穴部377 ☎359500)
 - ・鴨宮ケアセンター (南鴨宮2-27 ☎486877)
- なお、1泊2日(ツーデイスーパー)を利用する場合、鴨宮ケアセンター地区の方は潤生園で行います。
- ▼問い合わせ 高齢福祉課 ☎331864

(仮称) 小田原市総合文化体育館の愛称募集

市内中曽根に建設中の(仮称)小田原市総合文化体育館の愛称を募集します。この施設は、スポーツ活動のほか、各種大会の開催、国際大会の観戦など、生涯スポーツの普及・推進の場となるだけでなく、コンサートやイ



ベントなどの文化行事にも使えます。また、平成10年の『かながわ・ゆめ国体』のバスケットボール競技(少年男子)の会場にもなります。

■体育館概要

規模 敷地面積31,000㎡、地上3階建て、延床面積16,000㎡、駐車スペース270台分

オープン 平成9年1月(予定)

施設内容 ①メインアリーナ(バスケットコート4面分・観客席約3,500席) ②サブアリーナ(バレーボールコート2面分) ③トレーニングルーム ④フィットネススタジオ ⑤スポーツサウナ ⑥会議室 ⑦自動販売機コーナー ⑧喫茶室など

周辺 親水護岸をつくり、酒匂川堤防へブリッジを架けて、水辺と親しめる環境

この体育館にふさわしく、広い、大きい、明るい、活気に満ちているイメージで、だれもが呼びやすく親しみやすい愛称をつけてください。

応募資格 市内に在住、在勤、在学の方

応募方法 市役所、支所・連絡所(マロニエ・ふらっとスポットを含む)、中央公民館、城山陸上競技場、スポーツ会館にある応募用紙、または官製はがきに ①愛称1点 ②選んだ理由 ③住所・氏名・電話番号・職業または学校名を記入して応募を

締め切り 7月20日(土)(当日消印有効)

発表 広報おだわら11月号 採用された方(抽選で10人程度)に記念品を贈呈

▶応募先 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所体育課 ☎33-1733

初動体制をさらに強化 市役所に消防分署が

阪神・淡路大地震の教訓から、発災時の初動体制が、いかに重要であるかがわかりました。地震はいつ起きるか予測できません。市役所での初動体制を整えるため、北分署を市庁舎1階へ移転し、防災対応システムの24時間体制をとることにしました。移転時期は、市役所1階部分の内部改修が完了する7月9日(火)を予定しています。

▼問い合わせ 消防本部消防総務課 ☎494417

地震観測点が移動

小田原には気象庁の地震観測点があります。震度観測と津波検知を同時に行う全国150地点に整備された津波地震観測施設の一つです。大きな揺れから小さな揺れまで観測できる精密な地震計のため、車のノイズなどのない静かな場所が適地となります。

昨年、気象庁の震度発表と市街地での体感とのずれが問題になり、市役所近くのN.T.T.施設内に一時移転していました。

この間、気象庁では、新しい観測場所の調査・研究を重ね、10月から和留沢に変更する予定で現在、試験観測を行っています。

今後より正確な地震観測ができるように、引き続き気象庁と連絡を取り合っていきます。

▼問い合わせ 防災対策課 ☎331855



文藝雑誌「一期一會」3

小田原文学館顧問・鈴木貫介

『續、小田原と折口信夫（釋迢空）』

釋迢空が「東京日日新聞」の歌壇の選者になられたのは、昭和五年（四十四歳）のこと。私は、昭和十年に中學を出たが在學中の三、四年のとき、一首の短歌をこの歌壇へ投稿した。ところが日を経てこの一首が選者に依つて、結句に少しばかり手加へられて、「東京日日新聞」朝刊の歌壇欄に、當日ただひとつだけ、小さな梓組の中にボツンと掲載されてゐるのを発見したとき、ことの意外さに羞恥とおどろきと歡喜で、足が地につかぬほどおどろあがる思ひであつた。私は、あとにもさきにも新聞雑誌への投稿はこれきりであつた。大正七年、折口信夫先生（三十二歳）が「足柄下郡史」編纂の仕事に赴いて、半歳餘滞在して郡内各地の綿密な調査と取材に出入した旅館「亀屋」には、大きな石の門柱（現存）が立ち、この二つを結び支へた鐵製の簡素な飾のようなものの中央尖端に、古風（歐風）な門燈が日没に薄暗く点つてゐた。當時の早川村は半農半漁のいづれかといへば柑子蜜柑のほひよりも、蟹の苦屋の魚臭に満ちた寒村であつた。迢空先生が歩かれたこの田舎道は、夜間提

燈のあかりのゆききした村人たちの足もとの暗く寂しい集落であつた。「宿舎の襖を隔てて、部屋毎に起る出養生の人たちの咳聲をさみしく聞いた」といひ、級畠の柑子の山をうたひ、閑院宮の藁屋根にふつた春雪を望み見て詠まれた釋迢空が、この邊鄙の地から送つた少年の短歌をたまたま拾ひあげたとき、少しばかり往時を思ふことがあつたのであらうか。然言ふ私の推測は、おもひすごしであつただらうか。私には、如斯（かく）のごとき経緯（いきさつ）があつて「海やまのあひだ」春のこと



ぶれ」二つの歌集の著者は、早くから尊敬した大切な歌人であつた。釋迢空 きさらぎのはつかの空の月ふかし。まだ生きて子はたたかふらむか

ひとり身の釋迢空の生涯に、世嗣として迎へられた國學院の學生藤井春洋は、能登國羽咋の氣多一宮の氣多大社の社家のひとであられた。不運にも硫黄島に戦つて還ることはなかつた。

釋迢空

たたかひに果てしわが子をかへせとぞ言ふべきときになりやしぬらむ

昭和五十（一九七五）年の冬、私ははるばる羽咋（石川縣）の砂丘に折口信夫博士の塋域をたづね

遺稿

釋迢空

みつまたの花は咲きしか。靜かなるゆふべに出てて 處女らは見よ

折口信夫（1887-1953）国文学者、民族学者、歌人。歌名「釈迢空」。22年国学院大学教授。28年慶応大学教授。

うめっ子通信

私と弟の通学路

富士見小学校6年 杉山紗綾香



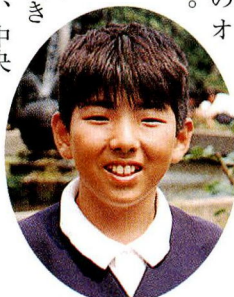
私は、学校にやっと慣れた1年の弟と、毎日学校に通って

います。朝、げんかんを出ると、となりの犬に「おはよう」と声をかけ、私と弟は、ルンルン気分です。学校へ出発。学校までの道には、小さな小川があり、そこでいつも弟は、「お姉ちゃん、今日は水が少なね。どうして？」と聞いてくるので、私は、いつも同じように、「どうしてかな。ずっと雨降ってないもんね」と教えてあげます。この聞き慣れた弟の質問を、毎日

地域のオアシスに

新玉小学校6年 大木卓

白いアーチをくぐると、そこは



新玉のオアシス。赤、黄、白と大輪のバラが咲きほこり、中央には、ふん水の出ている池があります。にぎやかな教室からは、想像のできないやさしい空間です。このバラ園にあるアーチは、今年地域の人々の協力で作られました。アーチができたことを祝う集会も協力してくださった人と一緒にいました。身近な人々の手をかり

て豊かな環境づくりができたのは、とてもうれしいことです。新玉小学校は、小田原駅の近くで、商店の建ち並ぶ市街地にあります。その中であつて、ぼくたちを見守るようなフェニックスや校章にもなっている桐が、校内に堂々とたっています。今までたくさんの子供たちを見つめてきた自然の植物たちが、ぼくらの自慢です。みんなで自然を守り、伝えることにより新玉小学校が地域のオアシスとしてこれからもたくさんの人々に親しまれる場所になってほしいと思います。

ワンダーワンド

天災は不公平にやってくる

建築指導課 志村康次



6か月間、西宮市で阪神・淡路大震災復興の手助けをしている市職員から、現地のようすを綴った手紙が届きました。

被災地の西宮市に赴任して早くも1か月半が過ぎました。震災から1年以上経って、街はきれいに片付いているのですが、自分の足で被災地を歩いてみて、一番強烈に感じたことは、「天災は決して公平にやってくる」ということです。

マスコミの報道はとにかく悲惨な部分をクローズアップして伝え

ます。ですから、テレビや新聞の情報だけで被災地を見ていた私の目には、老いも若きも豊かな人もそうでない人も、分け隔てなく皆平等に大変つらい思いをしているのだらうと想像していたのです。ところが、実際にはそうではなかった。どの街もうほとんど瓦礫は残っていないものの、更地や傾いたままの建物は結構残っています。しかし、それらは、経済的な理由で解決していないとか、再開発や区画整理などの行政的な理由

で残されているものがほとんどです。

建物が全壊して撤退した大手スーパーの跡地の隣で、仮設プレハブの建物で息を吹き返した店舗もあれば、不便な仮設住宅住まいを続けざるを得ない人たちも依然として多い。建物の構造的な原因で1軒だけツブレてしまった家もあれば、1街区全てが倒れてしまったところもあります。概して言えることは、このような街区が住民の高齢化や独居老人など、なんらかの社会的理由によってまちづくり、つまり建物の建て替えや市街地整備事業から取り残されてしまった地域であったことは残念ながら否定できません。

にしていなかった土地のことなのでなんの防災対策もとって得なかったために「まちの弱い部分」に被害が集中してしまったことは容易に想像できます。ところが、一方で「何でもなかった」人々も実は大勢いるのです。「お隣さんは何でもなくて今までどおりやったのに、ウチとこだけぶっ壊れてもう、借金は増えるばかり…」という悲しい人と、そうでない人の差が本心に激しい。

青果市場だより

毎日たっぷり野菜食

なす



協力 小田原青果商業協同組合 (有)真壁商店 (小八幡)

なすはよく成る(為す)というので、この名がついたと言われており、日本での最古の記録は奈良時代。江戸後期にはすでに「野菜のうち最も需要多きもの」と記されるほど身近な野菜です。

薬効

・ 歯の痛み、口内炎：なすのへたを黒焼きにしてつけます。なすの黒焼きは胃がんにも良いと言われていいます。

・ 打ち身、ねんざ、軽いやけど：冷蔵庫で冷やしたなすで冷湿布をします。

・ 扁桃腺炎：なすと昆布を黒焼きにして湯を注いで飲みます。

これ以外にも血圧を下げる効果もあると言われていいます。なすには体を冷やす作用がありますが、焼きなすにおろししょうがをつけたり、漬物に刻みしょうがを添えれば冷えを予防します。

見分け方・選び方 表面が濃い紫色でつやがあり、へたの切り口が新鮮でガクのトゲがとがっているものが良い。

料理法・扱い方 油との相性が良い野菜です。調理の時は切り口がすぐに変色するので、切ったら水に10分くらいつけてあく抜きをします。漬物の場合は、古釘や焼きみょうばんと一緒に漬け込むと鮮やかな濃い紫色を保つことができます。

保存のしかた 10℃ぐらいで保存す

るのがベスト。5℃以下での保存は避けてください。

公設青果市場
年間取扱量 889t 金額 2億
4532万4千円
主な産地 神奈川・山梨
▼問い合わせ 青果市場管理事務
所 ☎4815551

クッキング・ノート

【なすの茶せん揚げ】

お酒の肴に・お客さまのおもてなしに
①なすは中ぐらいの大きさを、色・つやの良いものを選び。

②きれいに洗い、ふきんで水気を取り、3mm〜5mmの幅に縦に切れ目を入れる。

③180℃に熱した油で素揚げにする。

④中まで火が通ったら、へたとす下部をもって絞る。

⑤おろし大根、おろししょうがを添え、好みでばん酢や正油、だし汁などで召しあがってください。

小田原とオーストラリア、アメリカの中・高校生が互いのまちを訪れ交流を進める「ときめき国際学校」。この参加者として3年前にオーストラリアのマントリー市から初めて日本、そして小田原を訪れた。大きなビルと朝から晩まで働く人のたくさんいる日本のイメージが、このとき、自然の美しい素敵な国へと変わったという。その後、もっとたくさんの日本の人と知り合い文化を学びたいと、今年再来日。現在、市内でホームステイを続けている。

「ときめき国際学校は2週間ほどの短い期間だが、感受性の強く情熱のある参加者たちは、一生の友達をつくれるはず」と話すクリアさん。もうすぐ始まる今年の国際学校では、スタッフとして後輩たちの交流を支える。



ぴーぷる

ときめき国際学校スタッフ
クリア・ジェーミソンさん

~You can form life long friendships~

ストリート・チルドレンの実態展示

ネパールの自然と人々の実態の展示やスライドなど

日時 7月13日(土)～16日(火) 午前10時～午後6時

場所 小田原駅前ふらっとスポット「生涯学習コーナー」

▶問い合わせ 板谷 ☎ 23-4545

相談

健康、法律、就職、各種相談など

就職相談会

来春卒業の大学・短大・高専専修学校生を対象に、「合同企業就職相談会」が開かれます。当日会場には地元企業が多数参加し、各社の概要説明・面接などを行いますので、お気軽にご参加ください。

日時 8月2日(金) 午前10時～午後4時

会場 マロニエ

▶問い合わせ 商工会議所 ☎ 23-1811、
公共職業安定所 ☎ 23-8609、市役所商工課 ☎ 33-1513

就学相談

子供の心身の発達や就学についてのいろいろな悩みに、教育・医療・福祉の専門家がお答えします。

対象 来年度小学校に入学するお子さん(平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ)の保護者

申込期間 7月末までに連絡を

▶申し込み 学校教育課 ☎ 33-1684

税金・年金・補助金

納税、年金、各種手当について

今月の納税

固定資産税・都市計画税 第2期分

納期限 7月31日(水) 口座振替払の方は、預金残高の確認をしてください。

平成8年1月以後所有している建物(車庫や倉庫を含む)を取り壊した場合には、資産税課までご連絡ください。

▶問い合わせ 資産税課 ☎ 33-1371

寝たきり・痴ほう性老人介護者見舞金

市は、ご自宅などでお年寄りを介護している方に、毎年1回見舞金をお贈りしています。

対象 65歳以上(平成8年9月15日現在)、市内に1年以上在住している方で

①平成8年1月1日以前から寝たきり

②平成8年7月1日現在、痴ほう症

のお年寄りを在宅で介護している方

見舞金額 30,000円

申請手続き 7月19日(金)まで

▶問い合わせ 各地区担当の民生委員または高齢福祉課 ☎ 33-1864

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

指定金融機関の 交替

7月1日に、市の指定金融機関が、スルガ銀行からさがみ信用金庫に変わりました。さがみ信用金庫は、公金の収納と支払事務を取り扱い、スルガ銀行は、横浜銀行とともに、指定代理金融機関として、公金の収納事務を取り扱います。

▶問い合わせ 財政課 ☎ 33-1311

久野霊園行き 直通臨時バスの運行

【7月13日(土)】

発車場所と時刻

①行き 小田原駅西口発、午前9時30分～午後3時30分までの30分間隔

②帰り 久野霊園発、午前10時～午後4時までの30分間隔

乗車料金(片道) 大人500円 小人300円

▶問い合わせ 箱根登山鉄道(株)小田原営業所 ☎ 35-1201

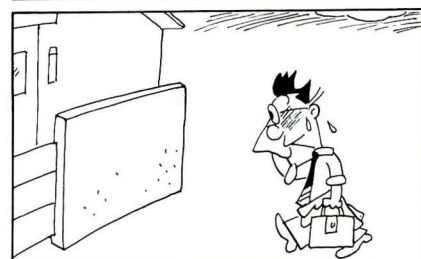
広報おだわらの 配布

広報おだわらは月2回(1日と15日)発行しています。1日号は自治会から、15日号は新聞折り込みでご家庭にお配りしています。お手元に届かない場合は、市役所、支所・連絡所、ふらっとスポット、マロニエ、保健センター、郵便局に置いてありますので、ご自由にお持ちください。

▶問い合わせ 広報広聴課 ☎ 33-1261

ごき家族

きざきのぼる



市民相談

7 JULY
月

①一般相談	休日を除く毎日 午前9時～午後4時
②法律相談(予約制)	3日(水)・10日(水) 17日(水)・24日(水)
③登記相談	11日(木)
④税務相談	16日(火)
⑤宅地建物取引相談	25日(木)
⑥防災相談(予約制)	15日(月)
※②～⑥の時間、午後1時30分～3時30分	
⑦心配ごと相談	8日(月)・22日(月) 午前10時～午後3時
⑧人権擁護相談	9日(火)・23日(火) 午後1時～3時
⑨行政苦情相談	18日(木)午後1時～4時
⑩教育相談	5日(金)・19日(金)
⑪消費生活相談	5日(金)・12日(金) 19日(金)・26日(金)

※⑩⑪の時間、午前9時～午後4時
⑫宅地建物法律相談 12日(金)午前10時～午後3時(予約制)

問 い 合 わ せ

市民相談室

☎ 33-1383

募集

あなたの手で
朝市を作ってみませんか
市(いち)の運営委員

新しい定期市の企画・運営に興味のある市民ボランティアを募集します。あなたの柔軟な発想と行動力を生かし、活気のある朝市を作ってみませんか。

対象 市内に在住の18歳以上(高校生を除く)で、毎週1回程度の企画会議などに参加できる方

人数 10人程度

申込方法 商工課(市役所4階・赤通路)で面談のうえ、受け付け

申込期間 7月15日(月)～31日(水)

▶問い合わせ 商工課 ☎ 33-1515

2つの女性会議に
参加してみたい方へ

女性問題への取り組みを進めるため、女性参加者を募集。往復旅費・宿泊費・参加費などは、市が負担します。全国の女性たちのハツラツ情報にふれるチャンスです。

■日本女性会議派遣

会議名	期間	場所
北海道・東北・関東甲信越地区男女共同参画推進地域会議	9月12日(木)～14日(土)	札幌市民会館
日本女性会議'96うつのみや	10月14日(月)～16日(水)	宇都宮市文化会館ほか

対象 市内に在住、在勤、在学の20歳以上の女性

人数 各1人

応募方法 「男らしさ、女らしさ」や「性別役割分業」などの女性問題について、日ごろ感じていること、または男女共同社会の創造に向けての学習や実践活動の記録を400字程度のリポートにまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、女性行政室(市役所5階・赤通路)まで郵送または直接お持ちください。

締め切り 7月16日(火)必着

選考 リポート選考の後、面接

▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所女性行政室 ☎ 33-1725

あなたの声が
道づくりにいかされます

渋滞、高速道路、身の回りの道についての意見を、「21世紀のみちを考える委員会」

までお寄せください。道路審議会では、「21世紀のみちを考える委員会」(森地茂委員長・東京大学教授)を設け、これからの道づくりについて広く意見、提案を求めています。このため、いろいろな考え方や提案の仕方などを紹介した、「キックオフレポート」を、希望の方に差し上げています。あなたの意見・提案の参考にしてください。意見・提案などがある方は下記へお問い合わせください。

締め切り 7月31日(水)消印有効

▶問い合わせ 建設省関東地方建設局横浜国道工事事務所調査第一課 ☎ 045-311-2981、神奈川県土木部道路整備課 ☎ 045-201-1111(内線6126)、小田原市建設部建設総務課 ☎ 33-1531、道路建設課 ☎ 33-1541

フリーマーケットへ
出店してみませんか

ご家庭の不用品を合理的にリサイクルしながら、自分も楽しめる「フリーマーケット」を開きます

日時 8月4日(日) 午前10時～午後4時(雨天中止)

場所 上府中公園(JR御殿場線下曾我駅徒歩15分)

形態 手持ち出店(1区画2m×3m)

駐車場 出店者用は確保します

応募資格 市内にお住まいで、家庭の不用品や趣味の手作りの品を販売する方

出店料 無料

応募方法 1人1通。往復はがきに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、勤務先(学校名)、電話番号、出店経験の有無、出店品目、返信用はがきに、返信先を必ず記入のうえ、7月19日(金)必着で応募ください(応募者多数の場合は抽選)



▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所環境総務課内 フリーマーケット実行委員会 ☎ 33-1471

講座

生涯学習、各種セミナー、講習会など

16ミリ映写機操作技術
認定講習会

視聴覚ライブラリー(かもめ図書館内)では、団体を対象に16ミリ映写機と16ミリ映画フィルムの貸し出しを行っています。この場合は、「16ミリ映写機操作技術認定証」をお持ちの方の操作が必要。この機会にその資格を取得しませんか。

日時 7月20日(土)午前9時～午後5時

場所 かもめ図書館集会室

対象 市内に在住・在勤・在学の高校生以上の方

定員 20人・先着順

講師 水島蓮太郎さん

受講料 500円(テキスト代)

申込方法 かもめ図書館視聴覚カウンター(2階)に、テキスト代を持って、直接お申し込みください

申込受付 7月9日(火)午前9時～

▶問い合わせ かもめ図書館 ☎ 49-7800



小田原競輪

周辺道路総合交通規制日

7月 19 20 21

●印は祝日・日曜日

市民プラザ

市民の皆さんからの情報を掲載

夏休み子供囲碁教室

碁は、頭脳の働きがよくなり、集中力・思考力が養われるといわれています。夏休みに碁に挑戦してみませんか。

日時 7月24日～8月28日の水・土曜日(全10回) 午前10時～正午

場所 囲碁サロン 関干(本町1-1-37)

対象・定員 小学生・25人・先着順

参加料 2,000円(教材費)

▶申し込み 早川 ☎ 23-4984

少年水泳大会参加者募集

この夏に、今までの練習の成果を試そう。

期日 8月18日(日)

受付開始 午前8時30分

場所 御幸の浜プール(Cプール)

対象 市内の小学3年生～6年生

参加料 500円(傷害保険料込み)

種目 男女とも3・4年生の部と5・6年生の部 リレーを除き1人2種目以内。

①自由形 50m・100m・200m(200mは5・6年生のみ)

②平泳ぎ 50m・100m

③背泳ぎ 50m・100m

④バタフライ 50m・100m

⑤個人メドレー 200m(バタフライ・背泳ぎ・平泳ぎ・自由形各泳法とも50m)

⑥200mリレー(50m×4人)

⑦200mメドレーリレー(背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライ・自由形の順50m×4人)

▶申込方法 7月1日(月)～31日(水)(土・日は除く)、所定の申し込み用紙にて。地区、学区、クラブなどで適格な水泳指導者のもとで一括申し込み可

▶申し込み 体育協会 ☎24-0343

夏休み『動く市政教室』 小学生親子集まれ！ はしご車体験や ケーブルテレビスタジオ見学

市民の皆さんに小田原の施設を知っていただき、広く利用してもらうための『動く市政教室』は自治会やPTAなどの団体を中心に年200回以上行っています。

今回は小学生の親子を対象に、個人でも気軽に参加できる教室です。

日時 7月24日(水)午前9時～午後4時

見学施設(予定) 小田原ケーブルテレビ、

マロニエ、消防本部

対象 市内在住の小学4年～6年生の親子

定員 30人程度(定員を超えた場合は抽選)

集合 市役所前午前9時、または小田原駅

西口午前9時10分

持ち物 昼食

参加料 無料

社会を明るくする運動
築こう未来を！
はぐくもう青少年を

青少年相談センター

☎23-1481

▶申し込み 7月15日(月)までに広報広聴課
☎33-1263

中央公民館・ 国府津公民館サマースクール

対象 市内在住の幼児、小・中学生とその保護者

申込方法 会場となる公民館に直接申し込んでください。往復はがきでも申し込みます。

▶問い合わせ 中央公民館 ☎35-5300 国府津公民館 ☎48-2035

■国府津公民館サマースクール

受付日時 7月14日(日)午前10時

場所 国府津公民館大会議室

科目	日時
人形劇と大型紙芝居を見よう！	7月23日(火) 10:00～12:00
自分の気持ちの専門家になろう	7月25日(木) 10:00～12:00
お手玉やゴム鉄砲を作って遊ぼう！ ふれあい工作	7月30日(火) 10:00～12:00
かんたん手作りミニチュア花器	7月31日(水) 10:00～12:00
みんなでつくろうパンとドーナツ	8月1日(木) 9:30～12:00
身近な水を調べてみよう	8月6日(火) 10:30～16:00
マイクロバスで(座間市)ひまわり畑を見に行こう	8月8日(木) 9:00～15:00
三ツ俣遺跡(国府津)を知ろう	8月10日(土) 10:00～12:00

■中央公民館サマースクール

受付日時 7月19日(金)午後2時

場所 中央公民館ホール

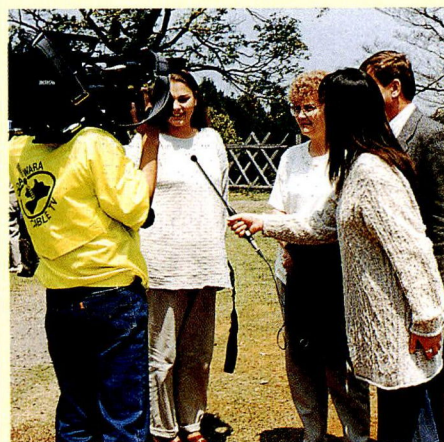
科目	日時
上手にできるかな！？	7月24日(水) ①10:00～12:00 ②13:30～16:00
①まつぼっくり鳥の親子 ②バランストンボ	7月25日(木) 13:30～16:00
昼下がりのホームパーティー 洋菓子作り	7月27日(土) 10:00～12:00
みんなで遊ぼう 紙しばいと絵本の会	7月30日(火) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30
自然のものをを使って 音をつくろう	7月31日(水) 18:30～21:00
夏の星座と流れ星を 観察しよう	①8月1日(木) ②8月2日(金) 10:00～16:00
家ででもできるよ！ コンニャク作り	8月1日(木) 13:30～16:00
人形劇がはじまるよ！	8月3日(土) 10:00～12:00
一夜城ものしりハイキング	8月4日(日) 10:00～15:30
夏休み映画会 「ごんぎつねのおくりもの」 ほか1本 感想画も描こう	8月11日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30

ON AIR

■小田原ケーブルテレビ(OCTV) おだわらワンダーランド

市内のイベントのようす、週末お出かけ情報、公共施設紹介など、小田原情報を満載
放映 月～金の12:20、16:20、20:20、21:20

そのほかにもテレビ・ラジオで小田原情報を放送しています。



広報広聴課 ☎33-1261

募集

人員、作品、参加者の募集など

はがき絵コンクール

小田原市水道事業創設60周年を記念し、水道について理解を深めていただくため、水道をテーマにした「はがき絵」を募集します。

作品内容 水道(水)をテーマにしたもの
応募資格 市内在住、在園、在学の幼稚園児、保育園児、小・中学生

表現方法 ①はがき大(10cm×14.8cm)の用紙または官製はがきに、
②鉛筆・サインペン・クレヨン・クレパス・水彩絵具・油彩絵具・ポスターカラーなどを使って、
③デッサン・水彩画・油彩画・貼絵・版画・イラストなど自由に表現してください(写真は不可)

応募点数 1人1点

締め切り 8月31日(土)必着

応募上の注意 はがきの表に住所、氏名、学校名(園名)、学年、電話番号を明記入賞者の発表 「広報おだわら」で発表。

入賞者には通知

▶申し込み・問い合わせ 〒250-02小田原市高田401 小田原市水道局営業課 ☎41-1202

July 1, 1996 No.678

こどもの行事

児童対象の行事など

図書館夏の児童文化行事

場 所	行 事 名	日 時	対 象 ・ 定 員
一 市 立 図 書 館	船をつくる会	7月23日(火) 9:00～12:00	小学4～6年 50人
	お堀のプランク トンを調べる会 (半日コース)	7月25日(木) 9:30～11:30	小学3年～中 学2年 30人
		7月26日(金) 9:30～11:30	小学3年～中 学2年 30人
	お堀のプランク トンを調べる会 (1日コース)	7月27日(土) 9:00～14:00	小学5年～中 学3年 30人
	城址公園で絵 をかこう	7月28日(日) 8:45～12:00	小学1～6年 100人
	牛乳パックで つくろう	8月1日(木) 9:30～11:30	小学1～6年 20人
一 か も め 図 書 館	人形劇に大集 合～人形劇を つくろう～	8月4日(日) 9:00～14:00	小学3～6年 30人
	リコーダー アンサンブル 教室	7月24日(水) 9:30～11:30	小学4～6年 30人
	ステンドアート をたのしもう	7月30日(火) 9:00～11:30	小学1～6年 30人
	牛乳パックで つくろう	8月3日(土) 9:30～11:30	小学1～6年 20人
一 か も め 図 書 館	果物や野菜を 調べる会	8月7日(水) 9:00～11:30	小学3～6年 30人



▶申込方法 7月14日(日)午前9時から、市立図書館で直接申し込んでください。

▶申し込みの注意

- ①本人または家族の方が申し込んでください。
- ②定員になり次第締め切り。
- ③定員に達しない行事は、前日まで受け付けます。電話でお問い合わせを。
- ④参加費は無料。「船をつくる会」は、材料費500円程度が必要。当日お持ちください。

▶問い合わせ 市立図書館 ☎ 24-1057

尊徳記念館こども映画会

期日 7月13日(土)

時間 ①午前10時～(開場 午前9時50分)、
②午後2時～(開場 午後1時50分)

場所 尊徳記念館1階視聴覚室

定員 60人

内容 ①「トム・ソーヤの冒険 冒険、冒険また冒険」(アニメ27分) ②「こぎつねのおくりもの」(アニメ30分)

入場料 無料

▶問い合わせ 尊徳記念館 ☎ 36-2381

図書館こども映画会

時間 午後1時30分(開場午後1時)

入場料 無料

【かもめ図書館視聴覚ホール】

定員 180人・先着順

内容 ①7月7日(日)「小さなバイキングビッケ火山島探検」(アニメ23分)、「吉四六どん」(アニメ19分) ②7月13日(土)「たぬきのいる町」(児童劇52分) ③7月14日(日)「ぼくへそまでまんが」(アニメ25分)、「こねこムーのおくりもの」(アニメ15分) ④7月21日(日)「私のあしながおじさん てんやわんやの入学式」(アニメ25分)、「花さき山」(アニメ18分)

【市立図書館小劇場】

定員 80人・先着順

内容 7月21日(日)「長靴をはいた猫」(アニメ43分)、「白いカラス」(アニメ12分)

▶問い合わせ かもめ図書館 ☎ 49-7800

レジャーシーズン！
気をつけよう、海での事故

■海の事故の連絡先

連絡先	電話番号
警察署	110
消防署	119
(平日) 小田原救難所	22-4475
(土・日曜) 五郎丸	23-2532
松本宅	22-1847
椎野宅	47-2724

えほんのよみきかせ
夏のおたのしみ会

日時 7月20日(土) 午後3時～4時(開場
午後2時30分)

場所 市立図書館こどもクラブ室(1階)

内容 ①小さな人形劇「なぞなぞのすきな女の子」②おはなし「エパミナンドス」③えほん「こいしがどし～ん」④大型かみしばい「じごくけんぶつ」⑤ブラックシアター「あれはなにものだ」

出演 えほんのよみきかせグループ「すずの会」

参加料 無料

▶問い合わせ 市立図書館 ☎ 24-1057

郷土文化館夏の行事

①雑木林で虫さがしをしよう

期日 7月21日(日)、雨天の場合は28日(日)

場所 久野・和留沢方面

集合 舟原行北舟バス停下車北舟公民館前、午前8時30分

解散 久野小学校、午後2時ごろ

講師 郷土文化館協議会委員・佐藤勝信さん、昆虫研究家・森正明さん

服装 長そで、長ズボンが望ましい

持ち物 捕虫網、虫かご、筆記用具、弁当、水筒、雨具など

②磯の生物を調べよう



期日 8月4日(日)(雨天中止)

場所 真鶴半島(尻掛海岸)

集合 真鶴駅、午前9時30分

解散 現地 午後3時ごろ

講師 大井町立大井小学校教諭・一寸木肇さん、小田原市市史編さん委員・松浦正郎さん

服装 めれてもよい服装、ビーチサンダル類、帽子

持ち物 バケツ、水中メガネ、筆記用具、弁当、水筒など

対象 ①②とも小学生以上高校生まで(①は保護者も可、②は小学生保護者同伴)

参加料 ①②とも無料(交通費は自己負担)

定員 ①②とも50人・先着順

▶申込方法 7月13日(土)から直接または電話で

▶申し込み 郷土文化館 ☎ 23-1377

夏休み子ども卓球教室

日時 7月23日(火)～27日(土)午後3時～5時

場所 スポーツ会館

対象 市内在住の小学3年生～6年生

定員 40人・先着順

参加料 2,000円(傷害保険料込み)

運動のできる服装で、卓球ラケット・上履き・タオルを持参してください

申込期間 7月10日(水)～17日(水)(15日(月)は休館) 午前9時～午後5時

▶申し込み スポーツ会館 ☎ 23-2465

夏は商店街もホットに



市内の商店街が、手作りイベントを開きます。

'96しろやま商店会「夏まつり」

～小田原宿ゆかたで盆踊り～

日時 7月20日(土)・21日(日)午後5時～9時
場所 小田原駅西口交差点北側(らーめん屋坊っちゃん～魚新までの区間を歩行者天国)

新宿商店会「夏まつり」

日時 7月21日(日) 午後4時～8時30分
場所 国道1号線浜町交差点から新宿交差点までの北側歩道上

蛸田商工祭納涼大会

日時 7月24日(水) 午後6時～9時
場所 ヤオマサ蛸田店第1駐車場

宮小路納涼祭「屋台村」

日時 8月1日(木) 午後6時～9時
場所 宮小路柳通り駐車場
▶問い合わせ 商工課 ☎33-1511

歩けの会(遊行寺～大船フラワーセンター～大船観音)

日時 7月14日(日)(雨天中止)
集合 小田原駅東口、午前9時
持ち物 弁当
参加料 300円(交通費別)
問い合わせ 歩けの会・山崎賢蔵 ☎23-2393

民踊の集い

日時 7月14日・28日・8月11日・25日の各日曜日 午後7時～9時
場所 スポーツ会館
参加料 300円
問い合わせ 民踊協会・譲原キヨ ☎48-0665

小田原養護学校で
コミュニティ・スクール

日時 9月8日(日)、10月6日(日)、11月17日(日)、12月8日(日)、1月19日(日) (全5回)

午前10時～午後2時
場所 小田原養護学校(蓮正寺1021)
対象 小田原市、南足柄市、足柄上郡・下郡に在住・在勤の知的な障害を持つ方で、自分で会場まで来ることができる方
定員 20人・多数の場合は抽選
内容 皮工芸または陶芸、ゲーム
参加料 2,500円程度(教材費)
▶申し込み 7月19日(金)までに、小田原養護学校 ☎37-2755

スポーツ

各種スポーツ大会、講習会など

ナイター陸上記録会

日時 7月13日(土)、27日(土) 午後6時～8時
場所 城山陸上競技場
参加資格 健康な中学生以上の陸上競技愛好者(中学生は保護者同伴)
参加料 中学生300円、一般500円(傷害保険料と夜間使用料を含む)

競技種目

7月13日(土)

- ①中学男子の部
800m、3000m、砲丸投
- ②一般男子の部(高校生を含む)
800m、5000m、砲丸投
- ③女子の部(中学生、高校生を含む)
800m、3000m、砲丸投

7月27日(土)

- ①中学男子の部
1500m、3000m、砲丸投
 - ②一般男子の部(高校生を含む)
1500m、5000m、砲丸投
 - ③女子の部(中学生、高校生を含む)
1500m、砲丸投
- ▶申し込み 大会当日の午後4時30分～5時、会場で受け付け
▶問い合わせ 陸上競技協会・野澤洋一 ☎35-1135、(勤)片浦中学校 ☎29-0134

夏のスポーツ教室

①弓道教室

期間 7月25日～8月15日の毎週火・木・土曜日(全10日間)

時間 午後6時30分～8時30分

場所 城内弓道場

対象・定員 高校生以上20人

参加料 2,000円(傷害保険料を含む)
運動のできる服装で(用具は協会で用意)

②チビッコ・レディーステニス教室(硬式)

期日 8月3日～24日の毎週火・土曜日(全7日間)

時間 チビッコ教室午前6時30分～8時
レディース教室午前9時～11時30分

場所 城山庭球場

対象 女性と小学校4年生～中学生

定員 各50人

参加料 2,000円(傷害保険料を含む)
運動のできる服装で。テニスシューズ、テニスラケット(硬式)、帽子、タオル持参

▶①②の申し込み 7月1日(月)～15日(月) 土・日は除く)に参加料を添えて直接、体育協会(城山陸上競技場内) ☎24-0343へ

③親と子のボウリング教室

期日 8月4日(日)・11日(日)・18日(日)(全3日間)

時間 午前10時30分～午後1時

場所 神奈中ボウル

対象 小学4年生以上の子供と保護者

定員 14組28人・先着順

参加料 親子で3,000円(傷害保険料含む)
運動のできる服装で

▶③の申し込み 7月8日(月)～19日(金)に神奈中ボウル ☎23-2228

▶①②③の問い合わせ 体育協会 ☎24-0343

トレーニングルーム
利用者講習会

スポーツ会館トレーニング室の利用を希望する方を対象にした講習会。

日時

- ① 7月13日(土) 午後1時30分～3時
 - ② 7月17日(水) 午後6時30分～8時
 - ③ 7月27日(土) 午後6時30分～8時
 - ④ 8月10日(土) 午後1時30分～3時
- 中学生以下は使用できません。

▶問い合わせ スポーツ会館 ☎23-2465

水防工法訓練

7月7日(日)午前9時～正午

酒匂川右岸東町地内(酒匂橋上流側)

消防本部警防課 ☎49-4422



イベント

各種催しものなど

フラワーガーデン
7月の行事

①草花の即売会

地元生産者による各種草花の即売会

日時 7月7日(日)、21日(日) 午前9時～午後3時

②フラワーアレンジメント

リサイクル用品での花器の作り方、生け花の講習会

日時 7月13日(土) 午後1時30分～

定員 50人・先着順

参加料 1,000円(材料費)

持ち物 牛乳パック1ℓ用、工作はさみ、のり、カッター、定規

③テラリウムの作り方

ガラス容器の中で育つ植物の作り方

日時 7月21日(日) 午後1時30分～

定員 50人・先着順

参加料 2,000円

持ち物 良く洗った密封びん(ふたつき広口可)またはペットボトル(ふた付き)、小型スプーンを付けた棒(50cmくらい)または菜ばし、ビニールのふろしき、タオル

▶申し込み ②③は7月6日(土) 午前9

時30分からフラワーガーデン ☎34-2814

あかりの祭典
小田原ちょうちん夏まつり

今年で5回を迎える「あかりの祭典」は、「小田原ちょうちん」がシンボル。ちょうちんをつくったり、踊ったり、みこしをかついだりといろいろな場面で参加して、夏の夜をお楽しみください。

7月27日(土)

A城址公園内水の公園

①市民音楽祭 午後2時～3時 市内中学校による吹奏楽

②市民ステージ 午後3時～4時 市民グループによるパフォーマンスなど

③小田原城太鼓合戦 午後4時～6時30分 小田原北條太鼓ほか

④小田原ちょうちん踊りパレード&コンクール 午後7時～8時30分

*小田原お囃子共演会・小田原ちょうちん作り教室(27・28の両日)

B新玉小学校

①サッカー教室 午後2時～4時

Jリーグ・ベルマーレ平塚の選手が指導

②地元出身の力士との交流会 午後2時～4時 若松部屋の朝乃翔関ほか

③盆踊り 午後6時～8時

7月28日(日)

A城址公園内水の公園

①市民ステージ 午後2時～5時30分 市民グループによるパフォーマンスなど

②自治会みこしパレード 午後5時30分～8時20分

③川中美幸ふれあいコンサート 午後8時20分～50分

B新玉小学校

①小田原一番大集合 午後2時～4時

②地元出身のプロレスラーとの交流会 午後6時～8時 バトラーツの石川勇規

お答え

広報おだわらでは、「市長への手紙」でお寄せいただいた市民のご意見などを紹介しています。

この「市長への手紙」は、市民のだれもが、いつでも市政に意見を述べられるようにするための制度です。本年度は、酒匂川を境にして8月に東側の地域の各世帯に、10月に西側の地域の各世帯に自治会を通じて専用のはがきパンフレットをお配りする予定です。

この「市長への手紙」には平成7年度は、588通・777件の意見をお寄せいただきました。意見が多かったものとしては、①道路の

ほか

7月24日(土)～8月4日(日)

小田原ちょうちん流灯祭

市民・小学生のつくった小田原ちょうちん2200個をお堀に展示

▶問い合わせ 観光協会 ☎22-5002



フォークダンス一日教室

日時 7月7日(日) 午前10時～正午

場所 青少年会館

持ち物 運動靴、タオル

参加料 200円

申し込み 当日会場で

▶問い合わせ フォークダンス協会・山居みどり ☎22-1667

港の朝市 小田原漁港西側岸壁



7月6・13・27日午前8時から

問い合わせ 漁業協同組合 ☎22-4475

こんにちは、
市長さん

市民の声の直通便

広報おだわらで「こんにちは市長さん～市民の声の直通便」のコーナーを見かけます。私も小田原市のまちづくりについて提言したいのですが、どうすれば用紙が手に入るのですか。

舗装、側溝の整備など、道路問題に関するもの②城址公園内の観覧車・飛行塔の撤去などに関するもの③海岸のごみ処理やボイ捨て禁止など環境問題に関するものでした。ほかにも、身近なことから小田原市の将来像まで幅広いご意見をいただきました。

専用のはがきパンフレットは、支所・連絡所、図書館、保健センター、川東タウンセンターマロニエなどの公共施設、郵便局にも置いてありますので、どうぞご利用ください。皆さんからお寄せいただいたご意見には、市長がご返事しますが、匿名ではお答えできませんので、住所・氏名をお書きください。

▶問い合わせ 広報広聴課 ☎33-1263

広報おだわら

July 1, 1996 No.678

美しい情景を澄んだ歌声で

尊徳記念館 ロビーコンサート

日時 7月14日(日)午後1時～1時30分

会場 尊徳記念館1階ロビー

曲目 「栢山の里に(尊徳記念館の新築
記念に作曲)」「酒匂川(新曲)」「二宮
尊徳」「二宮金次郎」など

出演 栢山混声合唱団

賛助出演 かわせみ合唱団、ポピンコール

▶問い合わせ 尊徳記念館 ☎36-2381



歴史と伝統に触れる

全国城郭ミニチュア モデルコンテスト

長い歴史と文化をもつ小田原のシンボル「小田原城」。そして秀吉が小田原合戦の際に一夜にして築いたといわれる「石垣山一夜城」。それら貴重な文化遺産をもつ小田原で、歴史のロマンを感じていただこうと、「全国城郭ミニチュアモデルコンテスト」を開きます。

募集内容 国内にあるお城(城郭)の模型。大きさ、素材などは自由。簡単に持ち運べ、展示に耐えられるもの

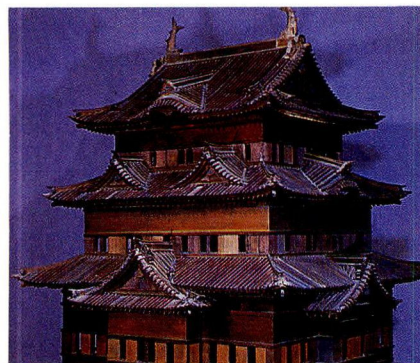
応募方法 完成作品の写真と応募票を郵送(第2次審査では作品を直接搬入または郵送していただきます)

募集期間 7月1日(月)～9月20日(金)・当日消印有効

賞金 グランプリ50万円、金賞10万円ほか
発表 個人に通知

展示・表彰式 10月20日(日)「一夜城まつり」会場

▶募集要項請求・問い合わせ 観光課 ☎33-1521



mmessage

大好きな海を体験

小田原みなとまつり

①サンセットクルーズ



高速双胴旅客船で相模湾から東京湾まで、約2時間40分の旅を。船内で賞品が当たるビンゴゲームもあるよ!

日時 8月4日(日) 午後5時20分～8時

乗船区間 小田原漁港から横浜港(大棧橋)

横浜港で解散

使用船舶 ベイブリッジ号(写真)

定員 75組・150人(中学生以下は大人同伴)

参加料 8,000円(2人1組)

②これが小田原海業だ



定置網見学から販売までが体験できます。獲れたての魚のおみやげ付き。

日時 8月4日(日) 午前9時～午後1時

会場 小田原漁港

内容 定置網締、陸揚げ、マダイの稚魚放流、セリ販売

対象・定員 原則として中学生以上60人

参加料 2,000円

③小田原の太公望

小田原沖合での船釣りを楽しんでください。釣り竿、仕掛け、エサ、氷は用意します。

日時 8月4日(日) 午前8時～正午(沖あがり)

対象・定員 小学生以上300人

持ち物 クーラーなど入れ物

参加料 4,500円

▶①～③の申込方法

往復はがきにイベント名、参加者の住所、氏名、年齢、電話番号、職業を記入して郵送してください。①のみ、はがき1枚につき2人1組で申し込んでください。

②③は、はがき1枚で何人でも申し込みます。

▶①～③の申し込み

〒250小田原市早川1-10-1 小田原みなとまつり実行委員会事務局(水産海浜課内)

☎22-9227

④スポーツ・フィッシング・フェスティバル

小田原漁港(新港)にイナダを放流してルアーで釣るという東日本最初のルアーフィッシング大会。仕掛けは市内の釣具店のポスターをご覧ください。

日時 8月4日(日)午前8時～午後3時

対象 中学生以上(小学生は保護者同伴ならば可)

定員 300人(午前・午後各150人)

参加料 1,000円

▶④申込方法 往復はがき

にイベント名、午前の部・午後の部どちらかを明記し、参加者の氏名、住所、電話、年齢、職業を記入して郵送。はがき1枚で何人でも申し込みできます。

▶④申し込み 〒250小田原市荻窪767 堀方「まちづくり市民工房21・イナダトーナメント」係 ☎35-6494

▶①～④締め切り 7月15日(月)(消印有効)(定員を超えた場合は、抽選)